

市 長	副市長	建設部	都市整備課				
		部 長	局長	課長補佐	係長	係 員	担当

会 議 記 録 簿

件 名	第 10 回 恵那市リニアまちづくり基盤整備計画推進委員会	記録	今井
日 時	令和 8 年 3 月 30 日（月）13：30～15：50		
場 所	恵那市役所西庁舎 3 階 災害対策室 C		
出席者	恵那市：長谷川部長、原局長、各務課長、吉村技術指導官、遠山課長補佐、今井係長、西尾 委 員：別紙名簿参照		

1. 開 会

- ・長谷川部長より挨拶

2. 委員長あいさつ

- ・磯部委員長より挨拶

3. 議事

- （1）基盤整備計画（市事業）の進捗状況について 資料①、②

4. その他

- （1）リニア中央新幹線恵那市内の工事状況について 資料③

- （2）県事業の状況について 資料④

【質疑等】

柘植）東濃東部都市間連絡道路について、どのあたりを通るかというルートは大体固まっているか。

市）4-2 工区及び 5 工区について、JR を跨ぐ跨線橋、東部広域水道の調整を今年度に行った結果、おおむね行けそうという路線が固まってきた。令和 8 年度に地区の皆様にお見せしながら協議を進めていきたい。

柘植）6-2 工区の点線の場合はどのような状況か。

市）こちらは JR のトンネル工事を行っている場所のあたりで、未確定のため点線表示としている。

柘植）この道路は最終的に恵那の市外地まで来ると思うが、大体どのあたりに来るということは公表されているのか。

市）その部分は現在検討中で未確定である。路線が確定しているのは佐藤建設のあたりまでで、そこから市街地に向けてはいくつかのパターンを検討している。谷に落ちてから上がるような地形となっている箇所もあり、線をまっすぐ書いたように道を作るには技術的にも費用的にもかかると考えている。

柘植）薄く水色で見える線は。

- 市) リニア軌道である。大体リニア軌道に沿って道路も野尻野畑までいくという絵となっている。
これは理想的な絵であるため、実現は難しいかなと思っている。
- 柘植) 早く決めて関係者へ知らせていただけるとありがたい。
- 市) そのあたりは今年も進めていきたいと考えている。
- 作田) 恵那 IC の混雑への対処として恵那峡スマート IC を整備するという話が上がってきている
と思うが、阿木川架橋ができて交通の便が良くなると逆に恵那 IC を使おうというケースも
出て、恵那峡スマート IC の利用が低下する心配があるが、そのあたりはどう考えているか。
- 磯部) スマート IC へ繋ぐ道が早くできればいいが、整備が遅れて他に恵那 IC へ繋ぐ道が整備され
るとそちらの利用が増える可能性があるのではないかとということ。
- 市) 新しく恵那峡スマート IC ができれば現在恵那 IC を使っている野尻野畑地区の方々もそち
らに流れていくことを考えると、恵那 IC の利用者は減少すると考えている。
また阿木川架橋が先に整備されると恵那 IC に流入するという心配については、まだこの道
路を利用するのは野尻野畑、大井長島地区からのみであり、橋の開通により恵那 IC の使用
が増えるということは今のところないと考えている。現在野尻野畑、大井長島地区方は明知
鉄道のガードを潜って恵那駅方面へ向かっていたものが、県道 72 号線や恵那 IC 方面へ向
かうという交通は多少増えると考えている。
- 作田) インターの所を通ろうとするとランプになっており混みやすいので、交通量が増えると逃げ
る道がなかなかないということもあり心配している。
- 作田) 市道 80 号線について、あれだけ見晴らしがいい道路で歩道が分けてないのは不安。歩道の
整備を計画していただきたい。
- 市) 現在は全幅 5m の道路幅で計画しており、歩道の計画はない。今後の交通量と流れを見なが
ら必要に応じて検討する。また大井長島地区は区画整理もあわせて検討したいと考えてい
る。
- 柘植) 資料 P9 の計画、実績などはどういうものか。
- 市) 緑の計画はリニア基盤整備計画の計画期間。現在は計画と実情が乖離してきたため、令和 6
年度にアクションプランを策定しており、それに基づいて実施している。アクションプラン
の計画期間を青、実施した実績が赤で表示されている。
- 柘植) 2 番目の施策でいうと、アクションプラン上は終わっており実績が令和 7 年となっているが、
これは完成したという風に見えるがいいか。
- 市) 令和 6 年度の工事の残った分を令和 7 年度に一部実施したもので、令和 6 年度分で事業とし
ては完了した。
- 磯部) 各施策の赤の実績について、事業が完了したのかわかるとよい。
- 磯部) 計画期間を直したけど遅れ気味のところもあるというグラフということ。
- 渡邊) リニアの工事が 2034 年まで延びるが、スマート IC はリニアの工事完成に合わせて動くので
はなく、先にスマート IC を整備してもいいのでは。先に整備すれば観光シーズンの恵那 IC
の渋滞も回避できるし、早めに動けるものはどんどん作っていった方がいいと思う。
- 市) 2034 年のリニア開業は JR が公表しているものだが、こことは別で事業を進めないといけな
いものはあると考えており、恵那峡スマート IC はリニアの開業とは別で事業を進めている。
リニアと関連して進めないといけない事業や開業後でないといけない事業もあるため、事
業によって分類して進めている。

加藤) 恵那峡スマート IC はアクションプランによると 5 年先の完了ということか。

市) アクションプランでは令和 13 年に完了として進めている。先ほど述べたように、リニア開業とは別でなるべく早く進めると令和 13 年ごろまでかかるという計画。

加藤) 経済活動の立場から言っても道路は大きな影響があるため、できれば今話されたように早く供用開始してもらえるとありがたい。

磯部) 恵那峡スマート IC はまず国道 19 号へ接続するところまでが完成形ということ。

市) 令和 13 年の春を予定しているため、年度としては令和 12 年度中になる。ただ開業時期については公表されていないため、アクションプランとしては 12 年度末を目指しているというものである。

加藤) 資料 2 の P8 にある赤丸は何か。

市) 都市間連絡道路の補助道路という位置づけで計画しているもの。中津川市、岐阜県と意見をすり合わせて実現の可能性を探っている。リニア岐阜県駅と恵那峡スマート IC を繋ぐ大事な道路であり沿道開発も期待できるため、中津川市、岐阜県と協力しながら進めたいと考えている。

渡邊) 基盤整備計画は JR の工事延長に伴い昨年 6 月か 3 月に修正した気がする。

市) 先ほど申し上げたとおり、基盤整備計画と現状が合わなくなったため、アクションプランとして作り変えて進行管理している。

渡邊) リニア工事自体の進捗は JR がやればいいが、工事に伴うまちづくり計画の進捗について市民や知見を有する人たちへの説明や落とし込みはどのようにしていくのか。最終的に話が上ってきた時に、そんな話聞いていないということになりかねないので、その落としどころが気になる。

市) 一般市民向けの説明は今までやっていないため、どういった出し方とするかを検討が必要だが市民に周知することはやっていきたいと考えている。

磯部) まちづくり構想を作るにあたって、具体的な基盤整備がいつどういう風になるのか周知されていないと意見が聞けない。私も過去に産業界や自治会の方など色々な方々とまちの雰囲気高めるためにどうしたらいいか議論した覚えがある。そのためには基盤整備がどうなってくるかという部分をうまく整理して議論していくといいと思う。

【報告事項】

作田) 瑞浪恵那道路の件で、地元としては槇ヶ根の交差点がどういった形状になるのか関心がある。

図面だけではわかりづらいため、目で見てわかる資料で地元に提示していただけるとありがたい。

市) 意見を踏まえて早めにわかるような資料を提示したいと思う。

渡邊) 市内のリニアの工事では大井非常口が一番のネックになっていると JR から聞いている。岩盤が硬く掘削に入れる状況ではなく遅れている状況。委員の方々もそういう状況ということを知っておいていただけたらと思う。

以 上